

東京都退職教職員協議会 会長 柴田 迪春
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-2 日本教育会館2F
東京都立学校教職員組合内
TEL 03-5276-1311 FAX 03-5276-1312
E-mail ttu@tokyokyouso.org

No. 264

'15.2.18

都退教協だより

二〇一五年 年頭に当たって 会長 柴田 迪春

安心して暮らそう

平和を求める

自公政権の継続、という結果の総選挙で昨年は終わりました。こうして迎えた新年が明るい希望に満ちるとは思えません。それどころか、当局が早期に情報を得ていながら、総選挙を意識してとしか考えられない対応の遅れとまずさから邦人二人が、事実上「見殺し」にされてしまう事件が、一月に起きてしまいました。

にもかかわらず、安倍首相は「だから自衛隊の海外派遣が必要なのだ」と言わんばかりの発言をしています。こうした「逆転発想」が、どういう思考回路から出てくるのか、見当もつきませんが、その目指すところが「改憲・軍事大国日本の形成」であることは、明白であると思えます。私は、この「戦争への道」は決して容認できません。

今年八月、戦後七〇年を迎えます。当時の鈴木貴太郎内閣は八月四日、連合国が発した日本に対する「無条件降伏宣言」（「ポツダム宣言」）受諾を決定し、翌二五日正午、天皇の「詔勅」のラヂオ放送によって公表しました。因みに「ポツダム宣言」（「日露戦争」終結から「ポツダム宣言受諾」までが四〇年、その間、日本は一五年間も戦争していたのです。

私は「詔勅放送」の時七歳でした。三月一〇日の空襲により家を焼かれ、何もかも失いました。栃木県の田舎に疎開しましたが、学校には

軍隊が駐留し、毎日のように空襲警報が出たため、生徒は「小字」（こあざ）ごとに「分散授業」となりました。しかし、授業とは名ばかりで、時たま先生が見回りに来るだけで



それ以後の生活のつらさは、他の何物にも例えようがありません。話は変わりますが、一部特定の人たちを除き、賃金を始めとして多くの皆さんの、家族の収入はほとんど増えていません。ところが、物価は円安により上昇の一端をたどっています。年金生活者の収入も物価高に追いつきません。医療や介護保険も、問題山積です。これから一年、日退教・退職者連合に結集し、課題解決に向けてできる限り力を尽くす所存です。役員、会員の皆さんを始め、ほかの多くの皆さんのご協力をいただき、一つ一つ取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

「だれでも、いつでも、どこでも」平等に受けられる社会保障を求め、対都要請行動

一月一九日（月）午前一〇時から都庁第一庁舎二五階会議室で行われた、東京高齢・退職者連合・東京高退連による「対都要請行動」に参加してきました。

この「要請」は、医療・介護その他高齢者にとって欠かすことができない諸課題をテーマに二〇数年継続していますが、ここ三年は焦点である介護保険制度の問題を中心にやってきています。

「いつ、だれが、どのような」介護の対象になるか分からないという、まさに「明日は我が身」という事態にどう対応するのか、と

いうことです。

それというのも、一つは高齢化が急速に進むなかで、介護保険制度の保険者が区市町村になっていくことです。特に、二〇一五年度からの第六期見直しで、要支援の事業が各自自治体に移行されるというが、果たしてやりきれぬのか、ということが大きな問題です。もし、自治体によって格差が生じ、あるいはサービスが個人負担の額によって異なるとなれば、「だれでも、いつでも、どこでも」平等に受けられる「社会保険（保障）制度」の基本理念が根本から

覆ることになります。東京高退連は、介護保険制度発足の翌年から、都内のいくつかの自治体に対し、介護保険の実施状況について、テーマを絞り、聞き取り調査を行ってきています。ここで明らかになった問題をさらに絞り込んで、予め都知事あてに要請し、福祉保健局高齢社会対策部の介護支援、施設支援、在宅支援の各課担当者から回答をもらいます。それを精査して、都庁内に設けられた会場で高退連幹事と各加盟単会の参加者が再質問し、東京都が各自自治体で統一的介護サ

都退教協 お花見のご案内

日時 4月3日（金）11時
JR王子駅 北口改札前
集合
場所 飛鳥山公園《北区》
徳川八代将軍 吉宗が享保の改革のひとつとして、江戸庶民の行楽地とするために桜を植樹して開放した。



江戸近郊の一大行楽地となった飛鳥山は歌川広重をはじめ、多くの絵師たちが浮世絵の画題とし、文人たちは歌に詠んだ。当時、花見の名所であった上野寛永寺などと異なり「歌舞音曲」や「仮装」が容認されていたため、江戸っ子たちは様々な趣向をこらして花見を楽しんだと言われている場所である。花見のあと、例年のように懇親会を開きます。（2千円～3千円）今年も高校退職者会の皆さんと合同で花見を行う予定です。たくさんの皆さまの参加を期待しています。

当日の連絡は、柴田会長 090-6700-7087
谷口事務局長 090-5202-0117

ービス・見守り活動などを提供出来るように行政支援し、地理的条件や財政規模の格差を抱える自治体の住民にサービスをある程度一定の価格で行われる都の財政的な措置について詳しい回答を聞き出すのが「要請行動」となるわけです。

今年度は、これ以外に都職員の「介護休暇取得」の実態と、「後期高齢者医療制度」の広域連合から各都道府県への移管にかかわる件、「シルバーパス」に関連する件が加わりました。



戦時中見聞きしたとく(その2)

柴田迪春

私は東京・下谷区(現台東区)入谷町で生まれ育ちました。6歳になったばかりの1944(昭和19)年3月、突然家族と離れ、姉と二人東京で暮らすことになりました。

そのころ、浅草国際劇場から上野にかけて「強制疎開」(姉は「防火帯作り」と)がありました。毎日通っていた「鶴の湯(銭湯)」も壊され、とても困りました。ただ、壊された家の跡には、ビー玉や空き缶など色々なものが落ちていたので、拾って遊びに使いました。

しばらくして、空き家になったご近所に越してきた家族がありました。子どももいるとわかって私は嬉しくなりました。私道の奥の自宅の前で、私が地面に何か書いていると、一人の子どもが出てきました。年齢も背格好も同じくらいでした。私が「何して遊ぶ？」と言うと、その子は黙って「メンコ」をやるしぐさをしました。私が「メンコ？」というと、首をこつくりしました。その日から、二人は毎日メンコで時を過ごし、なりました。ただ私にとつてやりきれなかったのは、その子が「メンコの名人」だったことです。私の心に残るのは、「口惜しさ」だけです。後日の経験から、その子が私の言うことは分かるのに、自分は一言も発しなかったことから、その子は多分在日朝鮮人だったのではないかと

思うようになりました。ところが、その子の家族が突然いなくなってしまったのです。理由は不明でした。

その後から、「警戒警報」がすぐ「空襲警報」に変わるようになりました。1944年末ごろから多摩地区の軍需工場が米軍機によって爆撃されていたのです。1945年3月10日未明、東京東部一帯が、約320機のB29による焼夷弾爆撃によって焦土とされ、10万余人が亡くなりました。我が家も焼かれました。私はその少し前、父が迎えに来て、1年

ぶりに家族と再会、騒ぎで夜中に目が覚め、深紅に染まった南天をただ眺めているだけでした。一人東京に残された姉は、「警防団」の「風上(西方)に逃げる」の指示で、焼夷弾をかくぐり、必死に走って谷中のお寺に逃げ込み、助かりました。



(完)

平和憲法を守る東京ネット総会

安部東明

平和憲法を守る東京ネット第十一回定期総会は、全水道会館5階会議室で一〇月十八日午後二時三〇分に開催されました。議長の出場に練馬住民・横田ゆずるさんで始まりました。

代表の四谷信子は力強い挨拶で、今総会が結成して十年を経過して十一年を迎え、亡くなられた土井たか子さんが、最初の全体集会の挨拶をした写真を持って、今思うと憲法と言え

来賓の挨拶で東京平和運動センターの事務局長桐田さんは平和運動と私たちの人権が危機に瀕し、戦争が迫っている感じがします。戦争を商売にする武器輸出3原則禁止の破棄集团的自衛権行使の閣議決定と安倍政権は暴走してきまし

た。東京地公労とともに東京千人委員会を立ち上げてきました。これまでの駅頭での署名活動とはこれまで違って、学生や女学生が駆け寄ってきてくれ、一般にも危機感が感じられました。日比谷公会堂で戦争を許さない東京千人委員会が千九百名の結集をしました。

◇第86回 メーデーの予告◇

第86回メーデー中央大会が下記の要領で開催されます。詳細は次号に掲載しますが、参加される方はご準備ください。



昨年も多くの都退教協会員が参加し、晴れはれわたった代々木公園で東京教組の現役の仲間とともに集会に参加しました。

今年も、多数の会員の皆さんの参加をお待ちしています。

日時 2015年 4月29日(水)〈祝日〉
午前10時~12時30分

会場 代々木公園B地区
(JR原宿駅・東京メトロ神宮前・代々木公園駅下車)

「核兵器廃絶を求める署名」にご協力ください。

都退教協だよりと同封した「核兵器廃絶を求める署名」は、連合、原水禁が呼びかけ、日退教、退職者連合がとりくんでいるものです。一日もはやい、核兵器廃絶を実現するために署名にご協力ください。 ※なお、署名後の用紙は、東京教組まで送付していただけるようお願い申し上げます。恐れ入りますが、送料はカンパしていただけるようお願い申し上げます。

